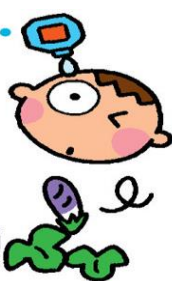




天願ほけんだより

R4. 7. 1



梅雨が明け、セミの鳴き声も聞こえ始め、日に日に日差しも強くなり、沖縄の本格的な長い夏の到来です！熱中症対策を行いながら元気に過ごしたいですね！

“早寝・早起き・朝ごはん”を心がけ、感染症に負けない、夏を元気に乗り切れるからだづくりを心がけましょう。

気をつけよう！ 夏にはやる病気

夏に気をつけたい感染症。代表的な3つについて、主な症状を挙げてみました。
気になる症状が見られたら、すぐに病院へ！

ヘルパンギーナ

高熱とのどの痛み。特にのどは、水ぼうや潰瘍ができるため、かなり痛む(乳児はミルクが飲めないほど)。



プール熱

(咽頭結膜熱)
高熱とのどの痛みのほか、目の痛み・かゆみ・充血など、結膜炎のような症状が出る。



手足口病

手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水ぼうやができ、熱が出ることも。



夏の感染症には、お医者さんからの登園許可証が必要な場合や、回復届が必要なこともあります。感染拡大を予防するためにも、症状がある際には早めの病院受診をよろしくお願いします。

《ご協力願い》

☆去った、6/1に歯科検診、6/13に内科検診をしていただきました。

園児の元気な姿に先生も安心した様子でした。

天願こども園は全体的に虫歯の子が少なくなっているとの事。これからも虫歯予防に励んでいます。

病院受診、予防接種の声かけがあった園児は早めの受診をお願いします。

高熱に注意！

溶連菌感染症

突然高熱の出る、非常に感染力の強い病気です。下記の症状が見られたら、早めに受診しましょう。

- 突然高熱が出て、のどがはれて痛みが出る
- 全身に発しんが出る
- 舌にイチゴ状の赤いぶつぶつが出る
- おう吐、頭痛が起こる



回復届・48時間の健康観察が必要です。



毎朝の検温・健康チェックにご協力いただき、ありがとうございます。

6月は夏風邪や胃腸炎で体調をくずしたりする園児がみられました。頻回の下痢・嘔吐等、体調変化に気づいたら安静を心がけ、自宅での療養・病院受診をお願いします。

☆保育生活において健康であることが最優先です。健康であればこそ、あそびを楽しみ、元気に1日を過ごせることができます。また、感染予防の上からも早期の対応をよろしくお願いします。